

# 結果概要

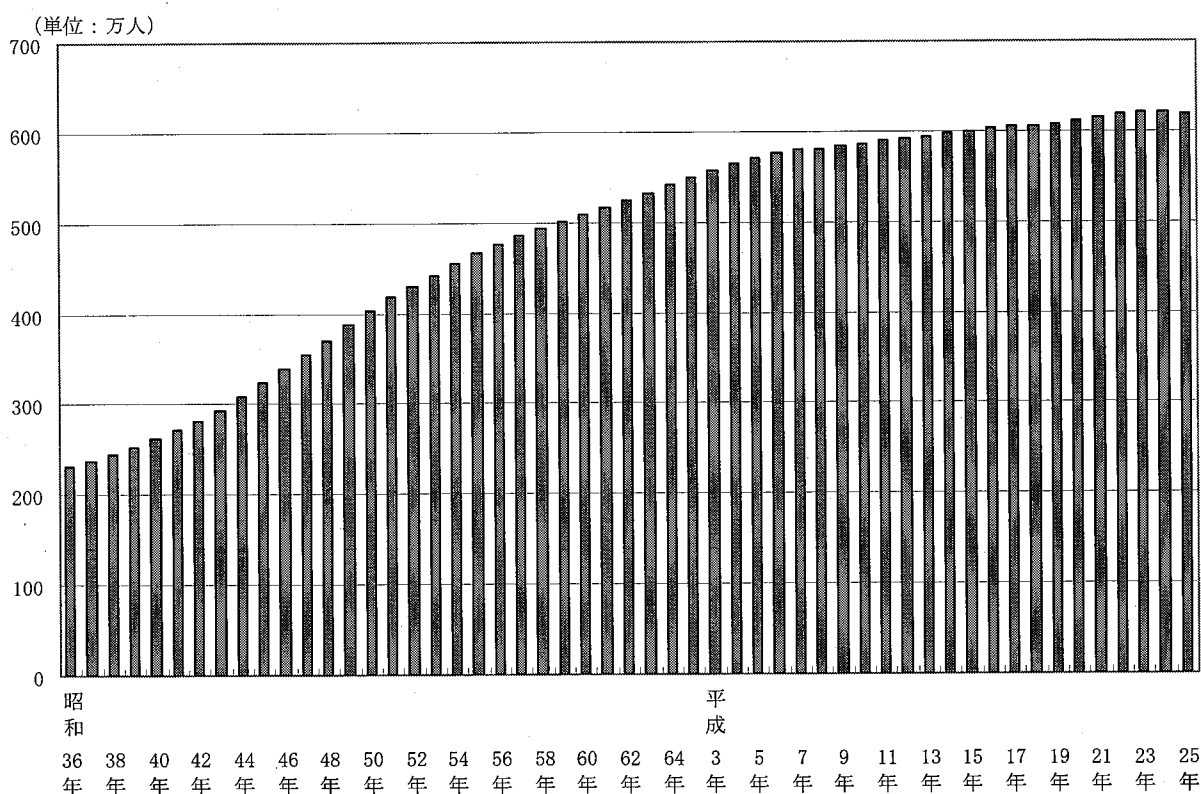
## 1. 人口総数

**県人口 619 万人**

平成 25 年 1 月 1 日現在の本県の人口は 6,193,352 人で、前年人口の 6,206,334 人に比べ 12,982 人、率にして 0.21%減少した。本県の人口は、大正 9 年 10 月 1 日現在（国勢調査）1,336,155 人で、その後増加を続け、昭和 49 年 11 月 1 日現在では 400 万人を超えて、4,002,808 人となった。さらに、昭和 58 年 10 月 1 日現在では 500 万人を超え 5,002,542 人となり、平成 14 年 9 月 17 日に 600 万人を突破したが、平成 23 年に初めて減少に転じ、平成 24 年も 2 年連続で減少した。

平成 22 年国勢調査によると、本県の人口は、6,216,289 人で全国第 6 位となっている。

図 1 千葉県人口の推移（昭和 36 年～平成 25 年、各年 1 月 1 日現在）



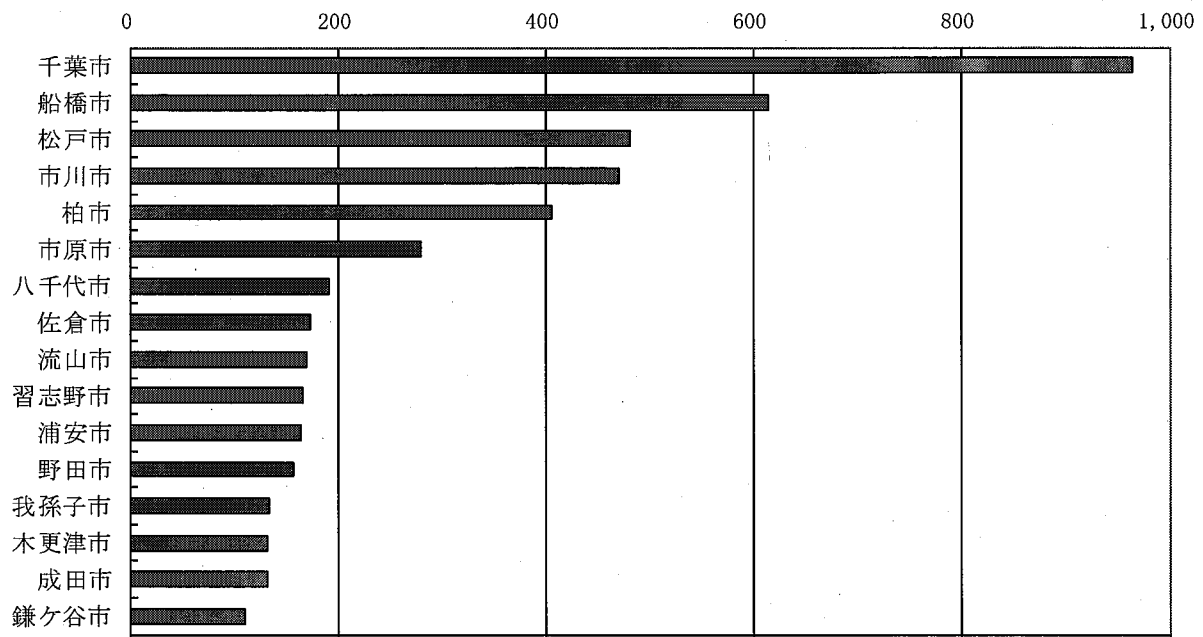
千葉市人口 96 万 3 千人  
 県人口の 15.6% を占める

平成 25 年 1 月 1 日現在の県人口を市町村別にみると、市部 (37 市) のうち 10 万人以上の市は 16 市あり、そのうち千葉市が 963,682 人 (県人口に占める割合 15.6%) で最も多く、郡部人口 216,889 人 (同 3.5%) の約 4.4 倍となっている。以下、船橋市 612,657 人 (同 9.9%)、松戸市 480,294 人 (同 7.8%)、市川市 468,566 人 (同 7.6%)、柏市 404,838 人 (同 6.5%) の順で続き、この 5 市で県人口の 47.3% を占めている。

郡部 (16 町 1 村) では、横芝光町が 24,163 人 (同 0.4%) で最も多く、以下、栄町 21,683 人 (同 0.4%)、酒々井町 21,135 人 (同 0.3%)、九十九里町 17,224 人 (同 0.3%)、多古町 15,466 人 (同 0.2%) の順となっている。

図 2 10 万人以上の市

(単位：千人)



## 2. 人口増減

人口増減数 -1 万 2 千人  
 増減率 -0.21%

平成 24 年中の本県の人口増減は、増減数 -12,982 人、増減率 -0.21% で、前年 (-10,693 人、-0.17%) よりさらに減少した。

近年の人口増減の推移を増減率で見ると、昭和 42 年から 49 年までは 4% 以上の増加率であったが、昭和 57 年からは 1% 台で推移、平成 5 年には 1% を割り、平成 23 年に初めてマイナスに転じ、平成 24 年も -0.21% となった。

自然増減数は減少

平成 24 年中の自然増減は、増減数 -3,664 人 (出生 49,768 人、死亡 53,432 人) で、前年の -523 人 (出生 51,294 人、死亡 51,817 人) に比べ出生が 1,526 人減少し、死亡が 1,615 人増加して自然増減数は前年に比べ 3,141 人さらに減少した。

近年の自然増減を増減率 (各年 1 月 1 日現在人口に対する自然増減総数の割合) でみると、昭和 42 年から 54 年までは 1% 以上の増加率であったが、昭和 55 年に 1% を割り、平成元年以降は 0.5% を下回って推移していたが、平成 23 年に初めてマイナスに転じ、平成 24 年も -0.06% となった。

社会増減数は減少

平成24年中の社会増減は、増減数-9,318人(転入162,355人、転出170,926人、県内の移動-19人、その他-728人)で、前年の-10,170人(転入167,006人、転出178,424人、県内の移動-342人、その他1,590人)に比べ転入が4,651人減少し、転出が7,498人減少し、県内の移動が323人増加し、その他が2,318人減少して、社会増減数は前年に比べ852人増加した。

近年の社会増減を増減率(各年1月1日現在人口に対する社会増減総数の割合)で見ると、昭和37年から50年までは2%以上の増加率で、そのうち昭和44年は、3.97%と4%に近い高い増加率であったが、昭和51年以降は1%前後の増加率で推移し、平成2年以降は1%を下回って、平成23年にマイナスとなり、平成24年も-0.15%となった。

図3 人口増減率の推移(昭和36年~平成24年)

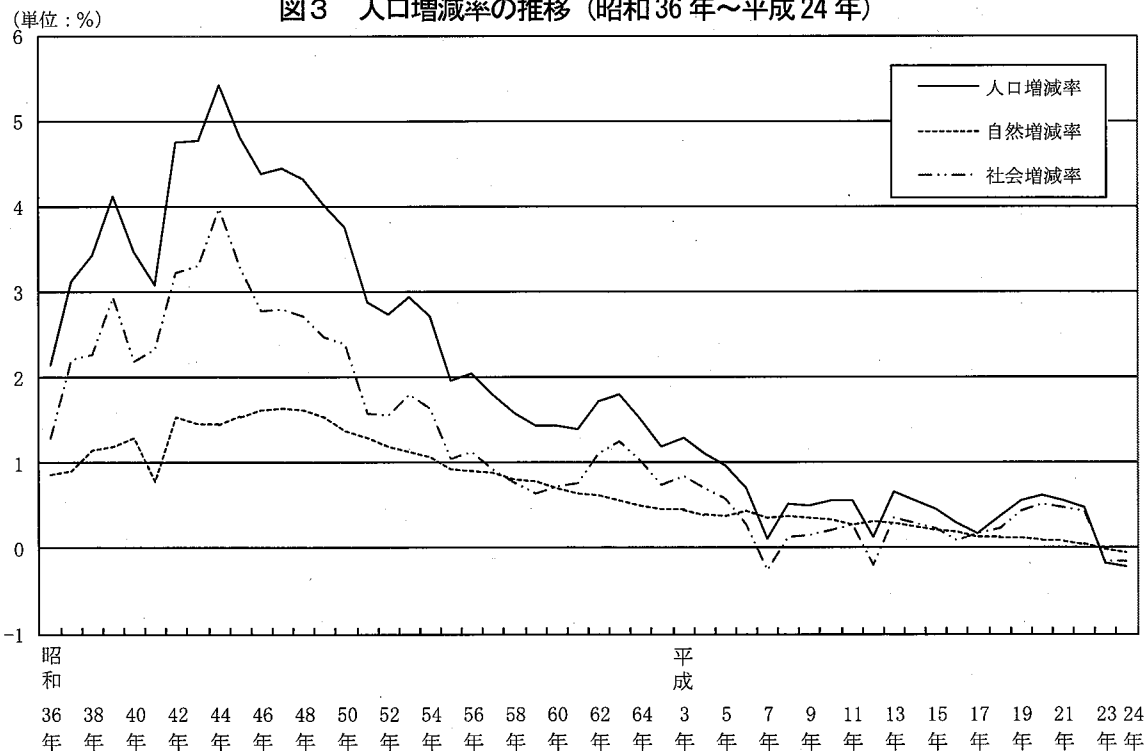


表1 月別動態別人口増減数(平成24年中)

(単位:人)

	人口増減数	自然増減			社会増減				
		増減数	出生	死亡	増減数	転入	転出	県内の移動	その他
1月中	-2,566	-1,319	4,435	5,754	-1,247	9,626	10,865	-116	108
2月中	-2,948	-1,158	3,898	5,056	-1,790	10,778	12,499	-134	65
3月中	-5,177	-735	3,987	4,722	-4,442	28,609	32,460	-630	39
4月中	4,147	-445	3,659	4,104	4,592	25,123	21,483	714	238
5月中	-516	-38	4,434	4,472	-478	12,450	13,267	138	201
6月中	-1,330	20	3,824	3,804	-1,350	10,275	11,675	-160	210
7月中	-865	352	4,344	3,992	-1,217	11,433	12,472	-38	-140
8月中	-915	262	4,349	4,087	-1,177	11,335	12,755	190	53
9月中	-588	422	4,043	3,621	-1,010	10,292	10,935	-360	-7
10月中	1,927	187	4,817	4,630	1,740	13,237	11,861	329	35
11月中	-741	-378	4,151	4,529	-363	9,487	9,739	38	-149
12月中	-3,410	-834	3,827	4,661	-2,576	9,710	10,915	10	-1,381
計	-12,982	-3,664	49,768	53,432	-9,318	162,355	170,926	-19	-728

注) その他とは、職権による記載・消除等をいう。

9市で人口増加

最高増減率は印西市 1.76%

平成24年中の人口増減を市町村別にみると、9市で人口が増加し、45市町村で減少した。増加数では、船橋市2,246人で最も多く、以下、印西市が1,574人、流山市1,105人、千葉市694人、木更津市586人と続いている。逆に、減少数では松戸市が2,226人で最も多く、以下、市川市1,757人、浦安市1,340人、我孫子市1,230人、銚子市1,124人の順となっている。

また、人口増加率では印西市が1.76%で最も高く、以下、流山市0.66%、四街道市0.65%、白井市0.49%、木更津市0.45%と続いている。逆に、減少率では長南町が2.37%で最も高く、以下、栄町2.00%、鋸南町1.95%、九十九里町1.91%、南房総市1.68%の順となっている。

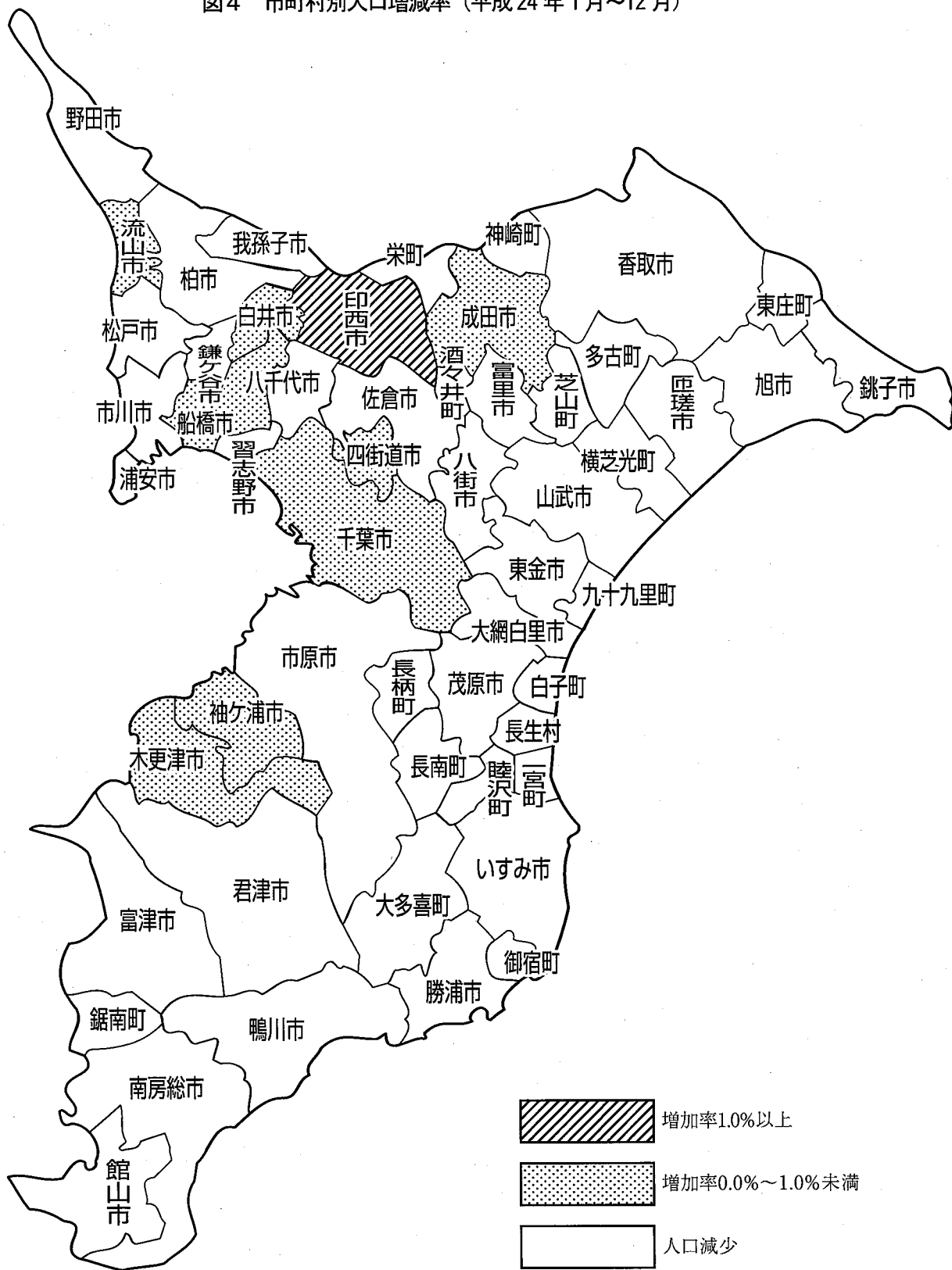
表2 人口増減数上位5市町村(平成20年~平成24年)

順位	平成20年		平成21年		平成22年		平成23年		平成24年	
	市町村	増加数 <sup>人</sup>	市町村	増加数 <sup>人</sup>	市町村	増加数 <sup>人</sup>	市町村	増加数 <sup>人</sup>	市町村	増加数 <sup>人</sup>
1	千葉市	10,541	船橋市	7,907	船橋市	7,711	流山市	1,882	船橋市	2,246
2	船橋市	6,727	千葉市	7,433	柏市	6,804	船橋市	1,304	印西市	1,574
3	松戸市	3,829	柏市	5,038	千葉市	5,956	四街道市	1,080	流山市	1,105
4	柏市	3,797	松戸市	3,081	木更津市	3,401	成田市	697	千葉市	694
5	浦安市	2,985	流山市	2,779	習志野市	3,152	鎌ヶ谷市	659	木更津市	586
順位	平成20年		平成21年		平成22年		平成23年		平成24年	
	市町村	減少数 <sup>人</sup>	市町村	減少数 <sup>人</sup>	市町村	減少数 <sup>人</sup>	市町村	減少数 <sup>人</sup>	市町村	減少数 <sup>人</sup>
1	銚子市	1,220	銚子市	1,121	市川市	2,170	市川市	2,631	松戸市	2,226
2	香取市	1,133	香取市	879	八街市	1,821	松戸市	1,916	市川市	1,757
3	山武市	713	山武市	609	匝瑳市	733	浦安市	1,423	浦安市	1,340
4	南房総市	590	南房総市	514	富里市	582	銚子市	1,190	我孫子市	1,230
5	富津市	492	茂原市	431	横芝光町	518	香取市	1,033	銚子市	1,124

表3 人口増減率上位5市町村(平成20年~平成24年)

順位	平成20年		平成21年		平成22年		平成23年		平成24年	
	市町村	増加率 <sup>%</sup>	市町村	増加率 <sup>%</sup>	市町村	増加率 <sup>%</sup>	市町村	増加率 <sup>%</sup>	市町村	増加率 <sup>%</sup>
1	印西市	3.46	印西市	3.39	木更津市	2.70	四街道市	1.24	印西市	1.76
2	白井市	2.77	流山市	1.75	習志野市	1.95	流山市	1.14	流山市	0.66
3	印旛村	2.55	白井市	1.53	流山市	1.78	印西市	0.67	四街道市	0.65
4	浦安市	1.87	印旛村	1.42	柏市	1.71	鎌ヶ谷市	0.61	白井市	0.49
5	流山市	1.44	船橋市	1.33	白井市	1.66	白井市	0.55	木更津市	0.45
順位	平成20年		平成21年		平成22年		平成23年		平成24年	
	市町村	減少率 <sup>%</sup>	市町村	減少率 <sup>%</sup>	市町村	減少率 <sup>%</sup>	市町村	減少率 <sup>%</sup>	市町村	減少率 <sup>%</sup>
1	勝浦市	1.93	鋸南町	2.02	八街市	2.43	長南町	2.12	長南町	2.37
2	鋸南町	1.91	長南町	1.73	神崎町	2.27	九十九里町	2.00	栄町	2.00
3	栄町	1.70	栄町	1.70	大多喜町	2.21	勝浦市	1.92	鋸南町	1.95
4	銚子市	1.69	勝浦市	1.65	横芝光町	2.06	芝山町	1.88	九十九里町	1.91
5	東庄町	1.63	銚子市	1.58	睦沢町	1.96	銚子市	1.70	南房総市	1.68

図4 市町村別人口増減率（平成24年1月～12月）



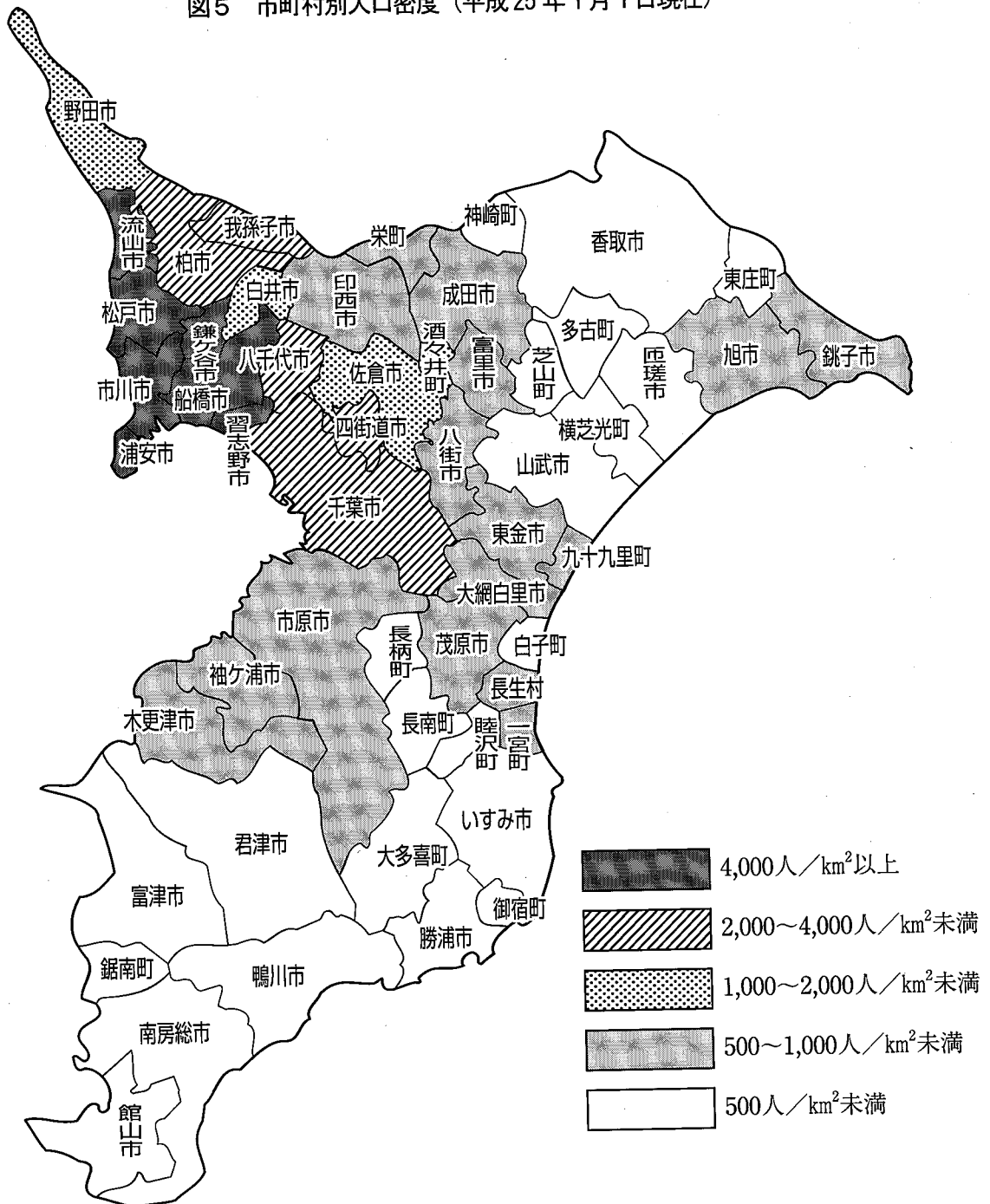
### 3. 人口密度

県人口密度 1,201.1 人/km<sup>2</sup>  
 市町村別人口密度は浦安市が  
 9,379.5 人/km<sup>2</sup>で最高

本県の人口密度は、平成 25 年 1 月 1 日現在 1,201.1 人/km<sup>2</sup>で、前年の人口密度 (1,203.6 人/km<sup>2</sup>) に比べ 2.5 人/km<sup>2</sup>低くなった。市郡別にみると、市部 1,356.6 人/km<sup>2</sup>、郡部 288.7 人/km<sup>2</sup>で、市部は郡部の約 4.7 倍の人口密度となっている。

人口密度を市町村別にみると、浦安市が 9,379.5 人/km<sup>2</sup>で最も高く、以下、市川市 8,163.2 人/km<sup>2</sup>、習志野市 7,874.9 人/km<sup>2</sup>、松戸市 7,831.3 人/km<sup>2</sup>、船橋市 7,153.9 人/km<sup>2</sup>と続き、逆に人口密度の低い市町村は、大多喜町 79.6 人/km<sup>2</sup>、長南町 131.8 人/km<sup>2</sup>、長柄町 164.9 人/km<sup>2</sup>、芝山町 176.8 人/km<sup>2</sup>、南房総市 177.0 人/km<sup>2</sup>の順となっている。

図5 市町村別人口密度 (平成 25 年 1 月 1 日現在)



#### 4. 人口性比

**県人口性比 99.1**

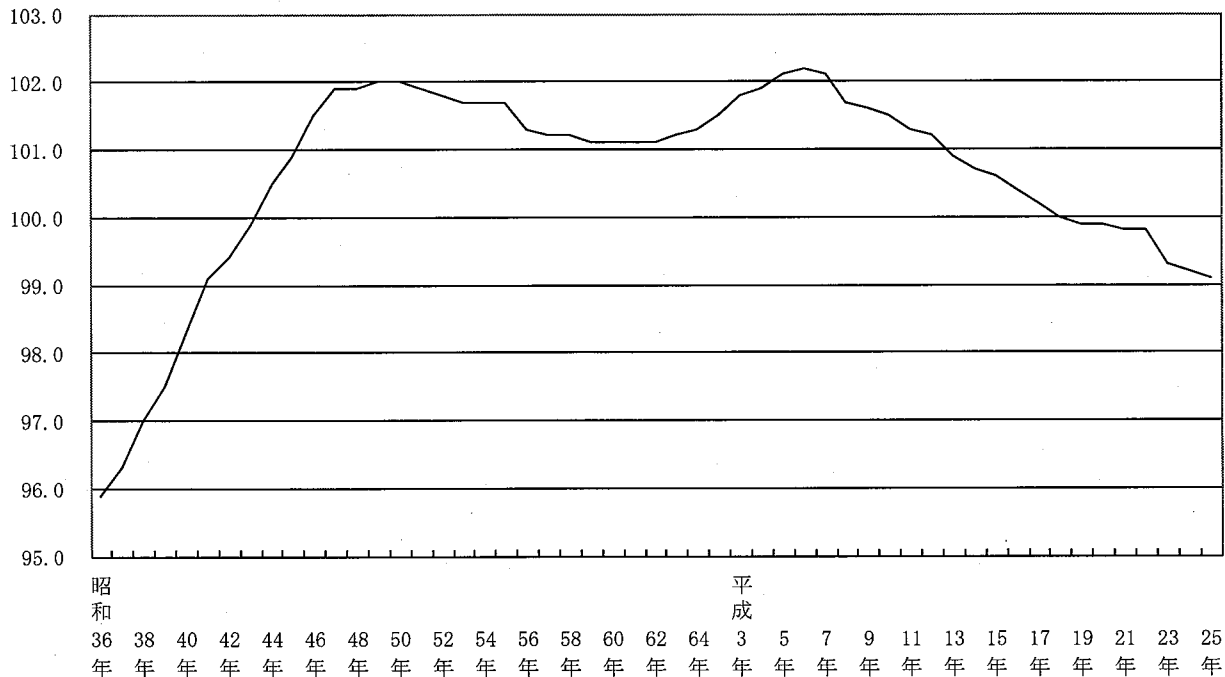
平成 25 年 1 月 1 日現在の本県の人口を男女別にみると、男 3,082,721 人、女 3,110,631 人で男が女に比べ 27,910 人少なく、人口性比（女 100 人に対する男の数）は、99.1 で前年（99.2）に比べ 0.1 ポイント減少した。

人口性比を市町村別にみると、市原市の 104.5 が最も高く、以下、勝浦市 104.4、君津市 104.1、富里市 102.2、袖ヶ浦市 102.1、逆に最も低いのは御宿町の 88.6 で、以下、鴨川市 89.8、南房総市 90.1、睦沢町 90.2、館山市 91.7 となっている。

100 以上の市町村は 14 市町で、100 未満の市町村は 40 市町村となっている。

昭和 36 年以降の人口性比の動きを各年 1 月 1 日現在でみると、95.9 から上昇し続け、昭和 44 年にはじめて男性人口が女性人口を上回り人口性比が 100 を越え、平成 6 年には、過去最高の 102.2 となった。その後は徐々に下降し、平成 19 年以降は再び 100 を下回っている。

図 6 人口性比（昭和 36 年～平成 25 年、各年 1 月 1 日現在）



5. 世帯数

県世帯数 255 万世帯  
1 世帯当たり人員は 2.43 人

平成25年1月1日現在の本県の世帯数は 2,551,063

世帯で、前年の世帯数 2,533,343 世帯に比べて 17,720 世帯増加し、増減率では 0.70% となり、人口増減率 -0.21% よりも高い率となっている。

1 世帯当たり人員は 2.43 人で、前年の 2.45 人に比べ 0.02 減少した。また、1 世帯当たり人員を市町村別にみると、東庄町の 3.19 人が最も多く、以下、芝山町 3.11、長南町 3.06 人、多古町 3.02 人、匝瑳市 2.97 人と続き、逆に最も少ないのは市川市の 2.14 人で、以下、勝浦市 2.20 人、松戸市 2.28、浦安市・船橋市 2.30 人の順となっている。

県の 1 世帯当たり人員より少ないのは 12 市町で、多いのは 42 市町村となっている。

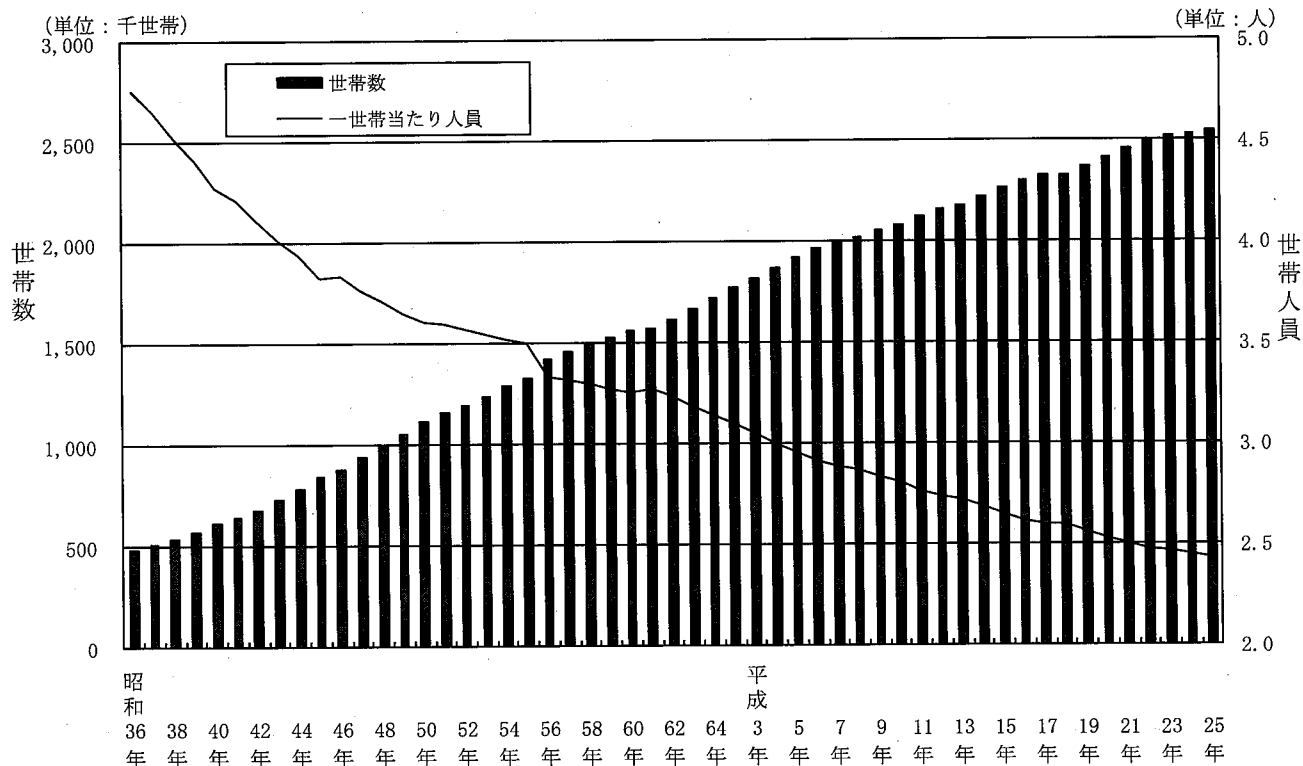
表 4 月別世帯増減数 (平成 24 年中)

(単位：世帯)

	増減数	転入	転出	その他
1月中	-374	5,623	5,710	-287
2月中	-365	6,474	6,896	57
3月中	4,563	17,270	14,132	1,425
4月中	8,074	16,027	9,999	2,046
5月中	1,316	7,527	7,101	890
6月中	692	6,146	6,062	608
7月中	933	6,574	6,261	620
8月中	463	6,174	6,172	461
9月中	989	6,310	5,491	170
10月中	2,346	7,731	5,968	583
11月中	463	5,555	4,955	-137
12月中	-1,380	5,394	5,468	-1,306
計	17,720	96,805	84,215	5,130

注) その他は、県内間の転入転出、死亡世帯及び職権による記載・消除等をいう。

図 7 世帯数及び世帯人員数の推移 (昭和 36 年～平成 25 年、各年 1 月 1 日現在)



6. 県外との人口移動

人口移動総数 33万3千人  
移動率 5.38%

平成24年中の県外との移動者総数(転入者数と転出者数の和)は、333,281人で前年の345,430人に比べ12,149人減少し、移動率(各年7月1日現在人口に対する移動者総数の割合)は5.38%と、前年の5.56%に比べて0.18ポイント低下した。

8千人の転出超過  
転出超過率 0.14%

平成24年中の県外からの転入者数は162,355人(前年167,006人)、転出者数170,926人(同178,424人)で、転出超過数8,571人(同11,418人)となり、転出超過数は2,847人減少した。

また、平成24年の転出超過率(各年7月1日現在人口に対する転出超過数の割合)は0.14%と、前年の0.18%に比べて0.04ポイント減少した。

なお、県外(46都道府県)との関係は、36都道府県から転入超過となり、10都道府県へ転出超過となっている。

表5 年次別他都道府県間人口移動総数(平成5年～平成24年)

年次	移動数	移動率	転入超過数 (-は転出超過)	転入超過率 (-は転出超過)	転入数	転出数	千葉県人口 (各年7月1日現在)
平成5年	434,997人	7.58%	30,987人	0.54%	232,992人	202,005人	5,735,511人
6年	430,738	7.45	14,586	0.25	222,662	208,076	5,781,768
7年	421,118	7.24	10,278	0.18	215,698	205,420	5,816,032
8年	411,860	7.08	6,586	0.11	209,223	202,637	5,818,369
9年	410,182	7.01	7,980	0.14	209,081	201,101	5,849,014
10年	409,201	6.96	12,443	0.21	210,822	198,379	5,880,299
11年	400,780	6.78	15,562	0.26	208,171	192,609	5,910,682
12年	402,748	6.78	13,754	0.23	208,251	194,497	5,943,886
13年	405,122	6.80	20,620	0.35	212,871	192,251	5,953,852
14年	392,787	6.55	17,385	0.29	205,086	187,701	5,992,362
15年	397,319	6.60	16,827	0.28	207,073	190,246	6,020,313
16年	384,037	6.35	6,233	0.10	195,135	188,902	6,048,643
17年	382,865	6.32	9,173	0.15	196,019	186,846	6,059,169
18年	380,885	6.27	14,845	0.24	197,865	183,020	6,073,549
19年	381,227	6.25	25,649	0.42	203,438	177,789	6,102,892
20年	376,061	6.13	30,077	0.49	203,069	172,992	6,139,750
21年	368,613	5.97	26,341	0.43	197,477	171,136	6,177,586
22年	354,989	5.73	12,669	0.20	183,829	171,160	6,199,614
23年	345,430	5.56	-11,418	-0.18	167,006	178,424	6,215,256
24年	333,281	5.38	-8,571	-0.14	162,355	170,926	6,197,944

表6 千葉県との転入・転出超過上位都道府県(平成20年～平成24年)

順位	平成20年		平成21年		平成22年		平成23年		平成24年	
	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数
1	北海道	2,629人	北海道	2,325人	大阪府	1,374人	福島県	1,753人	茨城県	943人
2	大阪府	1,779	大阪府	1,663	北海道	1,120	宮城県	898	福島県	941
3	埼玉県	1,641	宮城県	1,192	福岡県	951	茨城県	781	北海道	419
4	宮城県	1,396	福岡県	1,156	愛知県	936	岩手県	523	青森県	374
5	福岡県	1,359	埼玉県	1,141	兵庫県	922	青森県	462	新潟県	372
順位	平成20年		平成21年		平成22年		平成23年		平成24年	
	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数
1					東京都	941人	東京都	6,901人	東京都	9,805人
2					茨城県	72	神奈川県	1,273	埼玉県	1,699
3							埼玉県	1,020	神奈川県	1,504
4							福岡県	408	大阪府	447
5							岡山県	189	福岡県	254